

地域文化である茶道を普及・伝承するための活動強化

団体名 梶の葉庵 湖盆点前教室
 所在地 長野県諏訪市諏訪市小和田12-10
 構成員 13名
 資本金 ー
 売上高 ー
 業種 茶道文化の普及・伝承、茶道具の企画等



支援を受けるにあたって掲げた事業上の目標

Before

- 諏訪地域における茶道文化の普及・伝承をコンセプトした活動を行うものの、それを支える組織体制が未整備であった。
- また、組織体制構築と並行してブランド化や契約整備等、普及拡大に向けた活動についても未着手であった。

支援を受けてできるようになったこと

After

- 普及活動を進めていくための体制整備が進み、定期的な会合を開催する等、組織としての活動が始まった。
- 商標登録も行いブランド化に向けたアクションに着手したほか、外部パートナーとの連携等の広がりも出てきた。

今後の事業展開の展望

Future

- 法人化に向けた準備を行い、一層組織としての活動を強化する。
- WEBサイトを構築し、普及活動を進めていく。
- 商標登録(湖盆点前)を契機とし、普及活動だけに留まらず茶道具の販売等、ブランド展開を進める。

重点支援を受けた事業や商材



諏訪の茶道は地域の歴史と密接に関連しつつ発展してきた。しかしながら、茶道人口が減少傾向にあるのが実情であり、梶の葉庵では茶道文化の普及活動に取り組んできている。

具体的には、後世への伝承を目的とした湖盆点前体験教室等の活動や、茶道の普及を通じて関連産業(木曾漆器製造や茶葉栽培等)の活性化、茶道関連イベントの開催等を手掛けてきている。

こうした活動は、マスメディアでも取り上げられるようになってきているほか、YouTubeなどのSNSを通じて情報発信されている。

【写真】諏訪市有形文化財登録「聚竹居桐の間」(梶の葉庵提供)
 参集者 諏訪市ガールスカウト湖盆点前体験教室



重点支援を実施するにあたって整理した課題

取り組んだ課題	課題に取り組んだ背景・理由
組織体制構築	今後、効果的に茶道の普及活動を展開していくためには、それを実行するための組織体制構築が最重要である。
普及戦略立案	一部普及戦略を検討しているものの、将来像を見据えた戦略へとブラッシュアップする必要がある。また、それを具体的なアクションプランへと落とし込む必要がある。
ブランド・知財戦略立案	“湖盆点前”を軸としたブランド展開の戦略や、それに関連する商材等に関する知財面からの検討をしておく必要がある。
外部パートナーとの契約整備	茶道具製造や茶葉供給等、今後の事業展開に必要な外部パートナーとの連携方法を具体化しておく必要がある。



重点支援を通じて受けた支援と支援を通じてできるようになったこと

支援を受けた事項	支援を通じてできるようになったこと	活用専門家
組織体制構築	<ul style="list-style-type: none"> 組織体制のメンバーを概ね組閣することができ、定期的な会議開催を行う等、組織としての活動に着手することができた。 	弁理士 大学教授
普及戦略立案	<ul style="list-style-type: none"> 普及戦略を検討しながら、同時に親子教室開催や湖盆点前茶会を開催する等、普及活動を実際の行動へと移行させることができた。 	大学教授 ブランド専門家
ブランド・知財戦略立案	<ul style="list-style-type: none"> 活動の肝となる「湖盆点前」の商標を登録した。 ブランディングを進めていくために、WEBサイト構築へも動き出すことができた。 	大学教授 ブランド専門家 弁理士
外部パートナーとの契約整備	<ul style="list-style-type: none"> 複数の外部パートナーとコンタクトし、提携に向けた動きを進めることができた。 	弁理士 大学教授

支援チーム紹介

リーダー専門家:弁理士 渡邊 秀治

活用専門家:大学教授(美術)、ブランド専門家

知財総合支援窓口担当者:長野県知財総合支援窓口 金井 信夫

PO(プログラムオフィサー):中山 和彦、長尾 尚訓